

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)6月24日
所 属 名:湖東農産普及課
番 号:F25006
発 信 者 名:数野、河村

水稻防除に伴う研修会を開催

6月19日、JA 東びわこ稲枝受託者組合と JA 東びわこ稲枝営農経済センター共催による水稻防除に伴う研修会が開催され、生産者約20名が出席しました。

令和6年産は、全国的に斑点米カメムシ類の発生が多く、彦根市稲枝地域でも着色米(斑点米)の多発が問題になりました。そのため、斑点米カメムシ類を対象とした広域防除の考え方を再確認し、水稻の収量・品質を向上したいという生産者の強い要望に応じて開催されました。研修会では、当課が講師となり、本県で発生する斑点米カメムシ類の主要種や、斑点米被害の軽減に効果的な畦畔の2回連続草刈りおよび薬剤防除適期等について情報提供しました。

また、イネカメムシやミナミアオカメムシの生態や防除体系についても説明し、イネカメムシの防除適期が慣行防除と異なる点等を強調しました。参加者は、斑点米を抑制するための防除適期等について熱心に聴いておられ、令和7年産の防除体系等について活発な意見交換が行われました。

稲枝地域では、これまで本田でのイネカメムシの発生を確認していませんが、県内における生息域が拡大していることから今後の発生状況を注視する必要があります。当課では引き続き関係機関と連携し、水稻の安定生産や品質向上を図るため生産者に必要な情報を速やかに提供していきます。



斑点米カメムシ類の効果的な防除方法を学ぶ生産者